

21くろやま塾の芋植えシリーズ

5月は21くろやま塾のみなさんによる芋の苗植え作業のお手伝いをさせていただきました。第二小学校の1,2年生やひかり保育所、市内のみなさんと一緒に芋を植えていきました。事前の畑の整備作業では、私は初めて草刈り機を使ったり、塾員のみなさんと溝掘りやマルチはりなどを行い、連日作業に汗を流しました。草刈り機の操作ってみなさんあたりまえのようにされていますが、意外と難しいですね…！小学生や園児のみなさんも上手に苗を植えていました。塾員のみなさんと子どもたちが芋植えをしながらたくさん交流をされていて、とても大切な時間だな～と思いました。秋には大きな芋が収穫できるといいですね。イノシシやシカに食べられませんように…。みなさん、お疲れさまでした☆



↑畑の整備作業の様子



↑小学生のみなさんと！

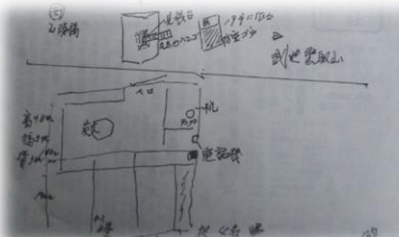


↑保育所のみなさんと！

京北の昔のはなし

毎月、黒田のきくやカフェさんで行われている「京北昔がたり今がたり」をはじめ、最近では人生の大先輩方のお話を聞く機会が多くあります。何気なく話してくれる昔の京北の暮らしの話はとても貴重でもっとたくさんの方に聞いてもらいたいと思います。黒田の監視哨など戦時中の話、戦後から今の時代までの話など聞き入ってしまいます。今は物があふれているけど、「豊かさ」とは何なのか？と考えさせられます。

→当時の黒田の監視哨についてのお話を聞きました。



京北の歴史ひとことコーナー

～今年明治維新151年！！引き続き山国隊特集～

山国隊は北野椿寺前の練兵場で軍事訓練を受けていた。

フクロウの一刀彫

みなさん、山国のフクロウの一刀彫をご存知ですか？光厳法皇が常照皇寺を開山され、裏山でフクロウの鳴き声が聞こえたことで、「フクロウの彫り物を作ってはどうかとお勧めになった」という話が長く語り継がれ、昭和3～4年ごろにむらおこしの一環で山國小塩・井戸の青年たちが始めたそうです。その流れを受けて、今も一刀彫を続けられている方がいます。材料や技術継承者不足が危ぶまれますが、これも地域の宝の一つですね。



田植えお疲れさまでした

田植えシーズンを迎え、京北では田んぼに苗が植わってきれいな風景が広がっています。私も田植えのお手伝いを今年もさせていただきました。去年に続き、一人で田植え機に乗らせてもらいましたが、操作を思い出すまでもたもたしてしまい、最初は曲がってしまいました(泣)断片的にしか見られていませんが、農業は奥が深くいろいろな知識が必要だと感じています。また、農作業をするたびに食べ物を生み出すことの尊さ、かっこよさを感じ、お米一粒にありがたみを感じるようになりました。

